

	中学生が「健康づくり」などのテーマで政策を提言！ ～練馬子ども議会 子ども議員が政策提言を発表～
と き	8月6日(火) 午後1時30分～3時30分
と ころ	生涯学習センター(練馬区豊玉北6-8-1)
<p>区は、6日、「練馬子ども議会」を生涯学習センター(豊玉北6-8-1)で開催した。参加したのは、区内中学校の代表生徒35名。</p> <p>生徒は子ども議員として、4グループに分かれ、「健康づくり」「青少年の活動」「省エネルギー対策」「学校給食」についての政策を提言した。</p> <p>子ども議員が発表した政策提言については、河口浩教育長が講評を行い、区政に反映させていく。今年の冬には、子ども議員の政策提言が区政にどのように反映されているかを確認し、子ども議会報告書を作成する。</p>	



政策提言発表の様子

【当日の様子など】

午後1時30分、子ども議員の中から選出された議長の南出佑大(みなみでゆうた 練馬区立豊玉第二中学校2年)さんが開会宣言を行い、練馬子ども議会が開会した。

それぞれのグループが、担当した政策提言を、思いを込めて順番に発表し、子ども議員同士での質疑応答が行われた。事前の学習会では、各地域で調査を行い、討論を繰り返しながら政策提言をまとめた。

河口浩(かわくちひろし)練馬区教育長は、子ども議員の政策提言に対して「SNSの活用だけでなく、手作りポスターでの啓発など、自分たちの力で取り組むことができる内容をしっかりと考えている。」と全体の講評を行い、最後に「何事にも問題意識をもち、みんなで考えて行くプロセスが大切である。」とアドバイスした。



河口教育長による講評

【政策提言発表の内容】

健康アプリの利用を推進するための取り組みについて

PR場所・回数を増やす。若い世代へ周知するため、キャンペーンを企画する。
新しい機能をつけ、利用しやすくする。

中高生の地域での活動の充実について

児童館・青少年館の認知度を高める。中高生の施設利用に関するニーズの把握に努める。
児童館・青少年館をお得に利用できるように。

節電、省エネをもっと身近なものにするために

取組を身近なものにする。周知方法を工夫する。

残飯率を低くするために練馬区としてどうするべきか

配膳ワゴンに給食サンプルの写真を載せること。食育の授業を検討すること。
給食を食べる時間を確保すること。

【参考】練馬子ども議会について

21世紀幕開け事業の一つとして、平成13年に初開催。中学生の視点からの質問や意見を、区に直接届ける機会となっている。今年は、区立中学校全33校(2名参加校が1校)、私立中学校1校から代表35人が参加した。